

中野 義彦 (77歳)

[東京都 推薦]

■ 活動内容等

中野義彦氏は、昭和49年、中野区立北中野中学校に野球指導ができる教員がいなかったため野球同好会（北中野中学校野球部の前身）の野球指導を始め、昭和61年には、中野区立武蔵台小学校の児童を中心とした少年野球チーム「ホワイトジュニア」の監督となりました。北中野中学校の指導から現在に至るまで引き続き50年近く、土日・祝日を休むことなく地域の小・中学生の野球指導をしてきました。

子供達が野球を一生楽しく続けていけるよう、「基本を忠実に」をモットーに、子供達に野球が持つ楽しさや面白さに興味を持ってもらう工夫をしながら、上達するまで丁寧に技術指導をしています。そのゆるぎない指導方針が、やがては子どもたちの、スポーツは健康にとって大切なものだという自覚にもつながっています。

この気風は、地域の健全育成の風土となっており、中野氏が長年審判長を務めている青少年育成上鷺宮地区委員会主催のソフトボール大会は、世代を超えてスポーツを楽しむ地域の大切な行事となっています。そして、この大会にはチームの保護者もOBも精力的にかかわっています。

このようにチームの保護者も、またチームで育った子供が大人になっても地域で健全育成に取り組むなど、子供とともに保護者も育つ団体の育成者として、地域に根差していく健全育成活動として貢献しています。



「ホワイトジュニア」指導風景



「ホワイトジュニア」対外試合監督風景



「ホワイトジュニア」指導風景